

## レザークラフト&レザーカービング教室 panja

手縫いとは、「平縫い」と「かがり縫い」の2種類の縫い方があります。

平縫いとは、一番よく使う基本の縫い方です。ほとんどの手縫いに対応できます。

縫うときは革を立てて手前から奥へと縫い進めるようにします。

股の間に「レーシングポニー」という革を挟む専用の道具を使いますが、

布団を干しておく布団干しはさみで代用できるので、生徒さんの金銭的な負担が軽くなります。

手縫いは、東京の本を出版している土平先生から馬の鞍作りの職人さんがしている手縫いの仕方を教わりました。本に載っている手縫いの方法より早く楽に縫えます。

かがり縫いとは、革に穴をあけて、平レースや丸レースをその穴に通して縫う方法、布とは違い、切り口はほつれない革の特性を生かせる縫い方です。針はレース針という専用の針が使いやすいです。その場合は、レースの先を斜めにカットして、針穴にねじ込むようにセットしておきます。

レザーカービング (Carving=彫刻)とは、文字通り革に彫刻をほどこすことで、湿らせると細工しやすくなる革の性質を生かしてできた技法です。図案通りに革に切り込みを入れるカッティングと、立体感を出すための刻印をつけるスタンピングの二つの方法が組み合わされています。

カービングには、唐草模様の浮き彫り、模様の部分をつぶす逆さ彫り、動物や風景の写実的な浮き彫り (フィギュアカービング)、革を切り抜いて模様を出すすかし彫りの4種類があります。

現在、行われているレザーカービングは、刻印を使って凹凸を出し、立体感を作って何らかの模様や絵柄を革に描く技法です。

中でも一番多く行われているのが植物や花、唐草、シェルダンスタイルカービングなどの模様があり、その他に人や動物などを描くフィギュアカービングなどがあります。

クラフト学園に通って、クラフト社認定のインストラクターの資格を取得しています。

10年以上前から東京のレザークラフトメーカー3社 (クラフト社、協進エル、誠和) の講習会にも通っていろいろな技法を身に付けてきています。

## レザークラフト教室&レザーカービング教室

- ・基礎コース
  - ー 平縫いとかがり縫いで革細工の小物を作ります。  
ペンケース、コインケース、カードケース、パスケース、スマホケース、キーケース、ダブルステッチのキーホルダー
- ・中級コース
  - ー 小さいショルダーバック (スカイショルダー) や二つ折り財布や長財布を手縫いします。  
カービングの基礎 (植物や花、唐草) からやります。 (コーヒーカップのコースターから始めます) カービング作品 (ペントレイ、小さいシステムバインダー、札入れ、めがねケース、カービングした壁掛け時計)
- ・上級者コース
  - ー 大きい鞆を手縫いします。  
(シェルダンスタイルカービングやフィギュアカービング)  
カービング作品 (ファスターがついたコインケースやペンケース)  
駒縫いという箱ものを作る特殊な縫い方をします。